

職員インタビュー『県のシゴト、私のユメ』

行政

県民の皆様
の快適な生活
づくりに
貢献できる
ような県職員
になりたい



川瀬 成美

市町村課

平成 26 年 採用 採
用 恵那土木事務所
平成 29 年 人事課
令和 2 年 現所属



入庁前と入庁後のギャップはありましたか

入庁前は、行政の仕事について定型化された仕事を淡々とこなしていくイメージを持っていましたが、実際に働いてみると、想像していた以上に行政の仕事内容は幅が広いことが分かりました。社会の変化に合わせて自ら新しい制度を作るような業務もありますし、覚えることも多いのですが、それだけ新鮮な楽しさもあります。

今の仕事のやりがいを教えてください

現所属では、市町村に交付する地方交付税の算定業務を主にしています。また、業務の内容上、市町村や国とのやりとりも多くあります。地方交付税は身近な行政サービスを行ううえで不可欠な財源であるため、お金の面から自治体の行政を幅広く知り、携わることができることにやりがいを感じています。

働く環境についてはどう思われますか

組織全体で働くという意識があるため、チームワークを大切にできる雰囲気があり、困ったときには周りに相談しやすい職場です。また、福利厚生や面においても制度が充実しているため、計画的に休暇をとることも可能ですし、女性も長く安心して働くことができると感じています。

今後実現したい夢はなんですか

様々な分野において経験を積み、少しずつでも着実に成長していきたいです。そうすることで、県民の皆様への快適な生活づくりに貢献できるような県職員になっていければと思います。

福祉

家族の笑顔
が増えるように
手助けが
できる人間
になりたい



岩田 恵子

中央子ども相談センター

平成 26 年 採用 採
用 わかあゆ学園
平成 29 年 現所属



入庁前と入庁後のギャップはありましたか

「外から見ていただけでは何も分からなかった」と感じる事がたくさんあります。家族間が抱える悩みや問題は、自分が思っている以上に多く存在しているという学生時代に勉強していた内容よりも複雑でした。また、育つ環境が、かにも子どもの成長に影響を与えているかということも日々の業務の中で痛感しています。

現在の仕事内容を教えてください

児童相談所一虐待対応と認識されている人も多いと思います。昨年度、保護者から虐待を受けたとして児童相談所が対応した件数は全国で19万件を超え、過去最多を更新しています。もちろんそういった虐待通告への対応もしていきますが、子ども相談センターの役割はそれだけではありません。子育ての相談や子どもの特性に悩んでいる親子さんに寄り添い、支援をしていくことも仕事の1つです。また子ども自身の悩み相談を受けることも多いです。

働く環境についてはどう思われますか

毎日さまざまな対応に追われているため、非常に忙しいです。それゆえに充実感もあります。また、同じ児童分野で活躍したいと考える職員が集まっているので、お互いに助け合いながら仕事ができていると感じます。仕事で困ったことがあっても相談しやすい環境が整っていると思います。スキルアップのための研修も行われています。

今後実現したい夢はなんですか

福祉分野に特化した仕事のため、それぞれの家庭へ支援がしやすい立場にあるのではないかと感じています。仕事の質を高め、今後も悩みを抱えている方々の力になりたいです。個人の夢としては、家族の笑顔が増えるように手助けができる人間になりたいです。

農学

広い視野
と現場での
きめ細かい
支援の
両方の視点
を持った
技術職員
になりたい



道木 菜那

飛騨農林事務所

平成 29 年 採用 農
業経営課
平成 31 年 農政課
令和 2 年 現所属



入庁前と入庁後のギャップはありましたか

「農学職」は技術職ではありますが、業務内容は行政、研究、技術指導と幅広く、専門的な知識以上に公務員としてたくさんの知識・能力が必要であることに驚きました。また、本庁では県全体、現地機関では担当地域や個々の農業者など、様々な視点で農業振興に携わることができることに魅力を感じています。

現在の仕事内容を教えてください

農業普及課で主に飛騨地域のほうれんそう農家への支援業務を担当しています。農業者の現場を訪ね、お話を伺いながら、一緒に病害虫や経営等の課題解決に向けた方法を考えています。また、新たな農政課題のひとつであるスマート農業にかかる実証事業について、関係機関や農業者と協力して取り組んでいるところです。

働く環境についてはどう思われますか

様々な業務に携わらる中で行き詰まることもありますが、上司や先輩方に相談しやすい環境のため、適切な助言をいただきながら、解決に向かうことができます。また、「技術職員＝男性」というイメージもありましたが、農学職は女性職員も多く、家庭と仕事を両立して働く先輩方を見て、今後の自分の働き方の参考になっています。

今後実現したい夢はなんですか

岐阜県の農産物の魅力をより多くの人に伝えていきたいです。そのために、県全体を見ることができ、広い視野と現場でのきめ細かい支援の両方の視点を持った技術職員となれるよう力をつけていきたいです。

Staff Interview

気になるシゴトの
コト、
聞いてみたよ!!



森林科学

幅広い分野
に精通した
研究者に
なり、
岐阜県の
林業振興
に貢献し
たい



片桐 奈々

森林研究所

平成 27 年 採用 現所属



入庁前と入庁後のギャップはありましたか

県職員として働き出して幅広い専門知識や技術が求められるようになり、入庁前に学んできたことはほんの一部なのだと痛感しました。それでも、県民の方々から「ありがとう」という言葉をいただくのが非常にやりがいを感じますし、もっと自分自身を研鑽しなければ、と奮い立たされます。

現在の仕事内容を教えてください

森林管理や林業において問題となる獣害や害虫、樹病を防ぐための研究や技術開発を行っています。フィールドでの調査や、室内での実験、データ解析等を行います。また、林業や特用林産関係者から依頼されて病虫害の特定や防除技術の指導を行っています。力不足を感じる時もありますが、仕事を楽しみ、やりがいをもって取り組んでいます。

働く環境についてはどう思われますか

仕事に行き詰った時でも、上司や先輩職員の方が力になってくれて乗り越えることができます。周囲の方へ相談しやすい環境が整っていると感じます。また、周囲の職員の方の仕事へのモチベーションが非常に高いので、自分の仕事に対する姿勢の参考になりますし、向上心が高まります。情熱を持って仕事ができる環境だと思います。

今後実現したい夢はなんですか

先輩職員の方がこれまで研究、開発してきた技術は、県内外の林業関係者に広く利用されています。このような研究・技術開発をすることができる幅広い分野に精通した研究者になり、岐阜県の林業振興に貢献したいと考えています。

土木

地域の方々
から感謝
されるよう
な
公務員に
なりた
い



佐藤 生章

岐阜土木事務所

平成 26 年 採用 河川課
平成 28 年 古川土木事務所
平成 31 年 現所属



岐阜県庁を志望された動機を教えてください

大学時代に学んだことを活かして、地元である岐阜県に貢献できる仕事に就きたいと思い、この仕事を選びました。県庁だけでなく、県内の色々な場所に事務所があり、所属異動を繰り返す中で幅広い経験が出来るということも魅力の一つです。

現在の仕事内容を教えてください

河川の堤防や護岸を整備する工事の発注、監督業務を行っています。また、工事に必要な予算を確保するための資料作成等も行っていきます。デスクワークが多いですが、工事現場へも頻りに行く仕事です。外部との打合せや会議も多く、様々な人と関わる仕事ですので、分かりやすい資料作成、説明を心掛けています。

仕事とプライベートをどのように両立させていますか

なるべく残業をしないように心掛けています。そのために、自分がやらなければならないことを整理して、仕事の優先順位を設定するとともに、概ね1週間単位で作業スケジュールを組んで仕事に取り組んでいます。

今後実現したい夢はなんですか

県民の生命や財産を守るやりがいのある仕事だと感じています。河川改修工事は費用も時間もかかるので、なかなか大変な業務だとは思いますが、将来的に地域の方々から感謝されるような公務員になりたいです。

建築

岐阜県
のよりよ
いまちづく
りに
貢献でき
る人材に
なりた
い



佐藤 智子

飛騨建築事務所

平成 30 年 採用 建築指導課
令和 2 年 現所属



入庁前と入庁後のギャップはありましたか

同じ建築職、同じ課内であっても様々な仕事内容があり、建築職としての知識を求められる範囲が入庁前に想像していたよりも多岐にわたると思いました。また、本庁と現地機関でも仕事内容が異なると思いました。異動前後で仕事内容が違っていても前の所属で得た知識が新しい所属で役に立つこともあり、知識の積み重ねが大切だと感じました。

現在の仕事内容を教えてください

建築基準法や都市計画法などの所管法令に基づいた審査指導業務を行っています。関係法令に関する相談等を受けることもあり、直接事業者の方と接する機会が多い職場になります。他にも、県有建築物の管理業務も行っていきます。

困難な事例があったときにどうやって解決されましたか

まずは類似事例や資料等を探し、疑問点を明らかにしたうえで、上司や周りの人に相談するようにしています。周りに相談しやすい雰囲気のため、分からないことはそのままにせず、その都度確認するようにしています。経験を積んでいる先輩方から意見を伺うことで、自分の足りない部分が分かり、知識が増えていくのを感じます。毎日の業務がとても勉強になっています。

今後実現したい夢はなんですか

まずは建築の技術職員として、確かな知識と経験を身に付けたいと思います。そのうえで岐阜県のよりよいまちづくりに貢献できる人材になりたいと思います。